

文部科学省
「平成25年度大学の世界展開力強化事業」
採択プログラム

国際PBLによる イノベータ育成プログラム

今、もっとも発展が著しい地域である東南アジア。
タイやインドネシアの大学の学生と英語で学ぶ。
研究プロジェクトを自分で考え、実行する。
それが国際イノベータへの道です。



THAILAND

JAPAN

INDONESIA

本プログラムが日本経済新聞で紹介されました

模範解答ない課題 挑戦
東南アと学期単位で学生交換

重森臣広(立命館大学政策科学部長)
2014年2月17日
日本経済新聞



ポイント

留学のハードル 下げる環境作り

外の大学だったので、それを選択した」と学生が言えるような教育環境を目指しているのだという。

依然として、海外留学のハードルは低くない。国境を越えた大学が共同で学生を教育し、学生たちも、自分の関心や興味によって自由に国境を越えて学び合う。そんなキャンパスが実現すれば、グローバルな視野を持つ学生がもっと増えるだろう。

(横)

2014年度
プログラム
募集概要

対象となる学部・回生 ----- 政策科学部：全回生
国際関係学部：2回生以上（卒業該当回生不可）
文学部：3回生のみ
経済学部・経営学部：2回生以上

英語基準-----TOEFL PBT 460点程度

募集締切り -----4月18日まで

*詳しくは、募集説明会および募集要項で確認して下さい。

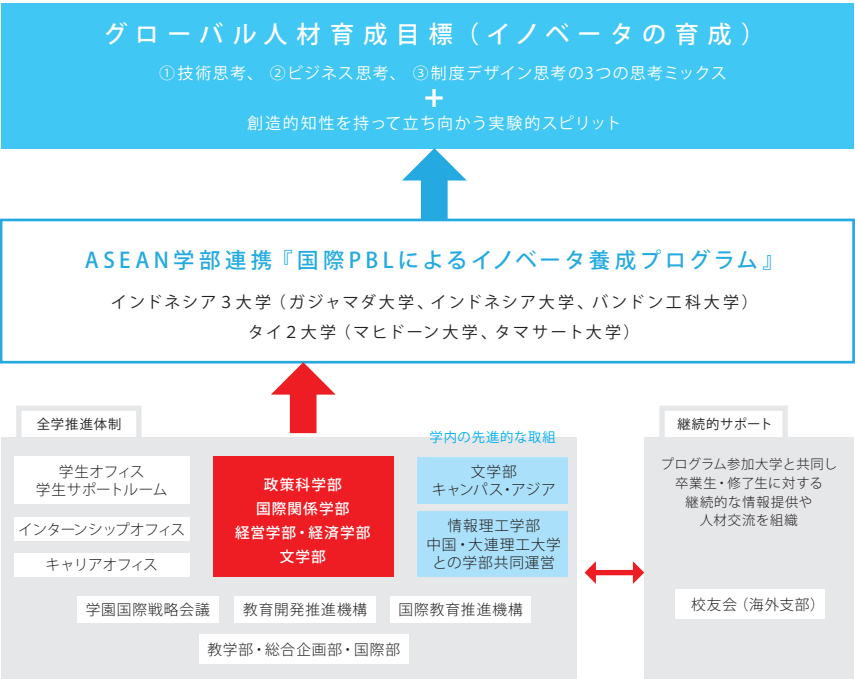
プログラムのコンセプト

文部科学省「平成25年度大学の世界展開力強化事業」に、立命館大学が申請した「国際PBLによるイノベータ育成プログラム」が採択されました。

このプログラムでは、経済学から工学にいたる、本学の各学部の研究・教育に密接に関係するアプローチを用いて、学生は政策課題を多角的に考察し解決策を提示します。ASEAN加盟国のインドネシア・タイと日本の大学生が共同で解決することを通じて、通常の講義科目以上に、問題・課題解決に必要な「思考ミックスの能力」を身に付けます。これが国際PBL (Project/Problem-Based Learning) です。

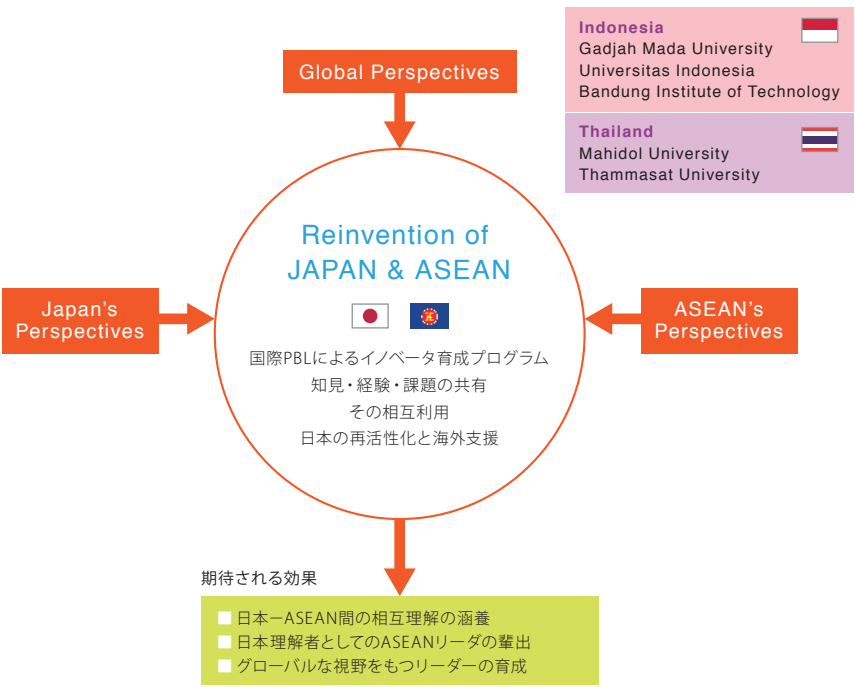
1 立命館大学の国際教育と本プログラムの関係

立命館大学では、教育プログラムの国際化をすすめてきました。英語による講義の受講だけで卒業できるG30プログラム(政策科学部、国際関係学部)、日中韓の3大学を順番に回りながら学ぶキャンパス・アジア(文学部)、大連理工大学との共同学部運営を行っている情報理工学部のとりくみなどです。「国際PBLによるイノベータ育成プログラム」では、それらの取り組みの実績を活かして、プロジェクトを学生が自ら運営し成果を出すことで世界にはばたくイノベータを育成します。



2 プログラムの目的と人材育成像

現在の世界が求めるのは、課題を解決できる人材です。その人材に必要なのは、思考ミックスの能力です。一般に政策課題・社会問題の解決には、(1) 技術思考、(2) ビジネス思考、(3) 制度デザイン思考の三つが必要です。インフラ輸出や国際的なソフト・パワーの流通などをみるまでもなく、範とすべきモデル不在が常態である今日、たくみな思考ミックスにもとづく創造的知性、モデル発見能力こそが新時代を担う人材育成の要です。



3 学びの体系

これらの科目は、立命館大学や参加大学が開く講義科目のほか、プログラムに参加する各大学から提供されるオンデマンド講義 (Video on demand)、サテライト講義 (TV会議) によって提供されます。また、少人数のセミナーによる活発な議論を通じて、学生は課題領域についての講義内容を、より深く理解することができます。



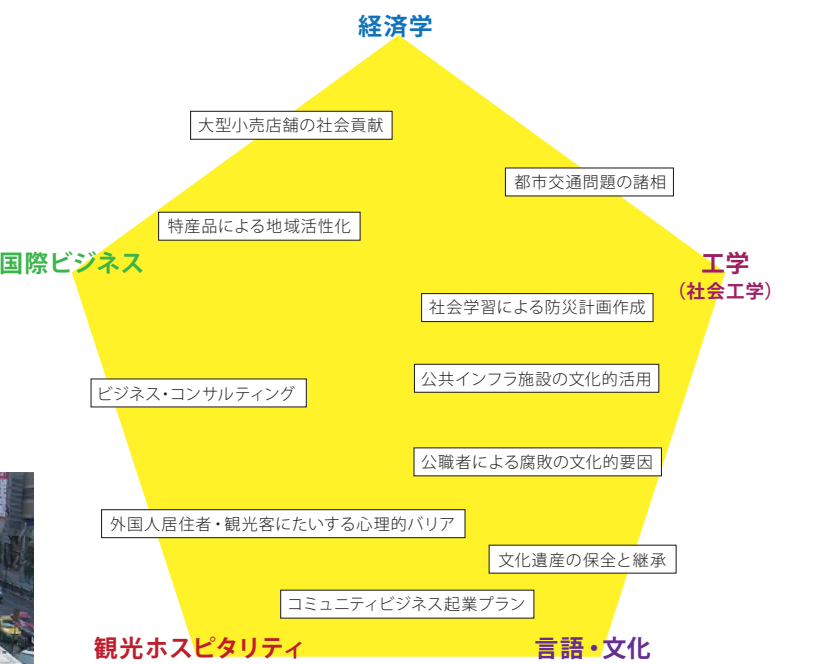
4 産官学連携の経験を国際化

セミナーの分野は、いずれも日本とASEAN諸国に共通する政策課題・社会問題と深く関連しています。その特徴は、①オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業による指導、②学際的かつ課題・問題指向の指導、③本プログラム履修生とG30プログラム(英語基準専攻)の履修生等との学びの交流です。

このプログラムのコアをなすのは、経済学、工学、言語・文化、観光ホスピタリティ、国際ビジネスの5つの課題領域です。それぞれに複数の課題トピックがあります。学生は、それぞれの関心と将来的な進路にあわせて、課題を自ら考え、研究を進めます。



インドネシア(左)とタイ(右)の渋滞の様子。「都市交通問題の諸相」として両国の渋滞についてとりあげます。



協定校の紹介

インドネシア

Indonesia



インドネシア大学

Universitas Indonesia

インドネシア大学 (UI) の創立は1849年で、アジアの大学としては最も長い伝統をもつ大学の1つです。

UIは、To become an autonomous, modern and multi-culture research university, and gain an internationally reputable academic standard を教学理念とし、現在12の学部と13の研究科を擁する総合大学です。立命館大学とは1996年に協力協定を締結しました。

インドネシア大学には日本語学科があり、多くの学生が日本語を学んでいます。キャンパスは、ジャカルタ市中心部のSalembaと南部のDepokに位置しています。

ガジャマダ大学

Universitas Gadjah Mada

ガジャマダ大学 (UGM) は、1949年にジョグジャカルタにて創立されたインドネシアで最も歴史のある、最大規模の研究機関です。現在18の各学部、多くの大学院や短期プログラムを擁し、学生数は55,000人にのぼります。

UGMは、To be excellent and innovative world class university, imbued with nation's cultural values based on Pancasila as the state ideology and dedicated to the nation's interest and humanity を教学理念とした大学です。UGMと本学とは1996年に協力協定を締結しました。

近年、歴史都市における防災などの分野において、本学とも共同研究を行っています。キャンパスは、インドネシアの古都として独自の文化を残すジョグジャカルタに位置しています。

バンドン工科大学

Institut Teknologi Bandung (ITB)

バンドン工科大学 (ITB) は、1920年に設立されたTechnische Hogeschool を前身とする1959年に創立された工業大学です。

教 学 理 念 は Being an excellent university, dignified, independent, and is recognized worldwide as well as guide the changes that can improve the welfare of the Indonesian nation and the world. であり、本学とは1999年に協力協定を締結しました。

ITBは12学部と各学部併設されている大学院によって構成され、独立宣言後、初代大統領になった元スカルノ大統領の出身校としても有名で、インドネシアの発展を支える多くの優秀な人材を輩出しています。キャンパスは、ジャワ島西部にある150万人都市バンドンに位置しています。

タイ

Thailand



マヒドン大学

Mahidol University

マヒドン大学 (MU) はタイで最も古い大学の一つで、その歴史は1888年に設立されたSiriraj Hospitalから始まります。

現在では、自然科学分野から人文科学分野まで幅広い研究を行っており、17の学部など多くのプログラムを備えた総合大学です。約26,000人の学生が学んでいます。“Widsdom of the land”をキーワードに、タイのみならず世界が抱える課題に取り組んでいます。MUと本学とは1997年に協力協定を締結しました。

キャンパスはバンコク郊外のSalaya Camous、バンコク市内のPhayathai Campusなど4つのキャンパスがあります。

タマサート大学

Thammasat University

タマサート大学 (TU) は、1937年に創立されたタイで2番目に古い大学で、設立以来30万人以上の学生を輩出しています。

現在14の学部と18の研究科を擁する総合大学で、To solve Thailands problems with moral commitment for the greater good of society を理念とした大学です。TUと本学とは1996年に協力協定を締結し、2003年以降、本学の政策科学部とTUの建築計画学部において相互に学生を派遣し合い、研究交流を行ってきました。

バンコク市中心部のTha Pra Chan Campusや郊外のRangsit Campusなど4つのキャンパスがあります。

日本

Japan



立命館大学

Ritsumeikan University

立命館大学は、100年を超える歴史を有する私立総合大学です。伝統と現代性が融合する京都と滋賀に位置し、衣笠、朱雀、びわこ・くさつの3つのキャンパスに、13学部・19研究科を擁します。

国際・地域・産業界とのネットワークを誇り、学部や専攻の枠を超えて、人類的課題にこたえる教育や研究に取り組んでいます。

また、2015年4月には大阪府茨木市に「アジアのゲートウェイキャンパス」として新しいキャンパスを開設します。



立命館大学における PBLによる学びの実例

これまで立命館大学では、10年以上にわたって本学の学生が現地を訪問し、海外の大学生との共同PBLを実施してきました。さらに実習科目では、海外の大学生を本学へ招いた共同PBLを実施してきました。ここでは、タイの例を紹介します。

共同PBL科目の授業では、これまで大学で学んできたことを駆使し、以下の政策課題例にあるような事例について、現地調査を通して問題発見から政策提案をおこなってきました。

まず自分たちで設定した課題について、政府機関などへのヒアリングや、地域住民へのアンケート調査などを行い、これまで国内で調べてきた情報と現場の状況の相違を認識し、また新たに課題を発見してきました。このようにして、自分たちの知識を現場の問題に当てはめて整理しつつ、現地調査で得られたデータに基づいた政策提言を行ってきました。

政策提言へ向けた議論では、日本人とタイ人が議論を重ねることで、多文化協働で新しい政策と一緒に創り出してきました。さらに、問題発見や政策提言を、当該課題に関連する教員や実務家に発表し議論することで、現地での学びを、専門的助力を得ながら振り返るという機会を提供してきました。



タイにおける政策課題（一例）

Thailand

- 深刻なタイの洪水被害に対する治水対策の改善
- 民意を反映する正当な政治を目指した情報格差の改善
- タイのスラム問題解決にむけての研究
- 人権の観点から視るタイの人身売買・売春婦問題
- タイにおける貧困とHIV/AIDSの関係性
- タイにおける開発支援と都市計画



日本における政策課題（一例）

Japan

- Economic Revitalization in Kamishichiken: Machiya Townscape for Sustainable Development
- Urban Revitalization: Nishijin Area
- Community-based Revitalization for Shopping Arcade
- Evaluation of Community Satisfaction and Participation in Rejuvenation of the Hori-kawa River Project.
- Influences of Changing Organization Management of Kyo-machiya Conservation Policy on Residents' Participate in Conserving Kyo-machiya
- Evacuation System for Supporting Elderly in Disaster Emergency



日本・ASEAN学生の 合同学習

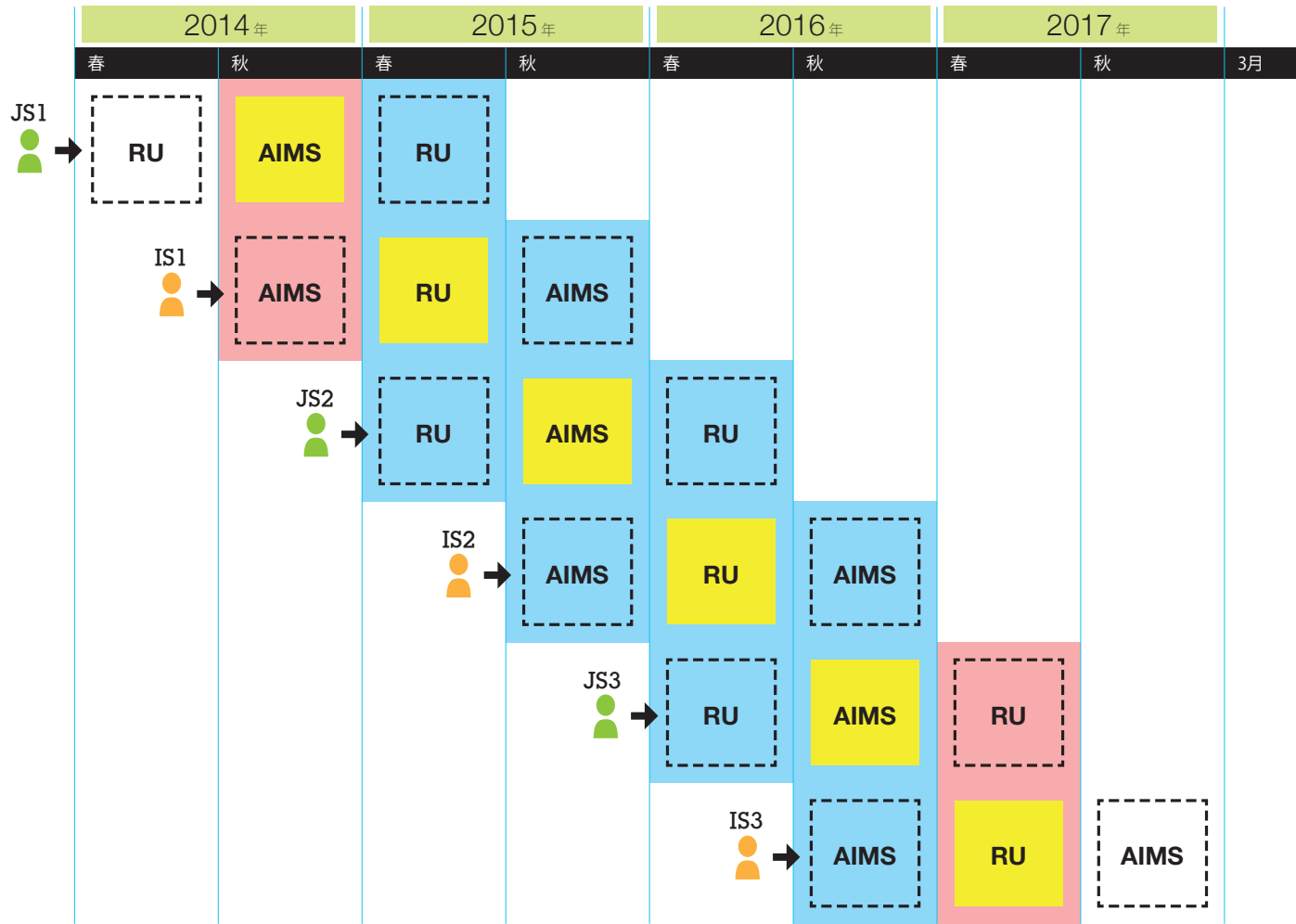
最初の立命館大学からAIMS（ASEAN学生交流プログラム）大学、すなわち今回のプログラムに参加しているインドネシア・タイの大学への派遣は、2014年秋セメスターです。

立命館大学の学生（JS1、JS2、JS3）のうち、今回募集されるJS1は、2014年春に立命館大学（RU）で事前学習を行い、秋に現地（AIMSの協定大学）で自分の研究課題にそった研究を現地の学生と

ともにPBLで行います。その後2015年春に事後学習として立命館大学で再び学習を深めます。

インドネシア・タイの学生（IS1、IS2、IS3）のうち、IS1をみてみましょう。2014年秋に所属大学（AIMS）で事前学習を行い、2015年春に立命館大学で自分の研究課題にそった研究を現地の学生とともにPBLで行います。その後2015年秋に事後学習として所属大学で再び学習を深めます。

このようにこのプログラムの合同学習は、AIMS諸国（インドネシア・タイ）でAIMS大学の学生とともに立命館の学生が学び、立命館ではAIMS大学の学生が立命館大学の学生とともに学ぶという意味で、従来の留学の概念を時間・空間双方で超越したものです。



JS 日本人学生

IS 国際学生

RU 立命館大学

AIMS 協定大学

事前・事後指導(所属大学)

本プログラム参加(派遣先大学)

合同学習の可能性

